

令和7年度都立蔵前工科高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 ・「表現」活動の充実	・4月教科会で年間指導計画について共有、単元に即した指導事項について確認 ・学年全員での単元に即した「スピーチ」活動の実践(主に第1学年) ・語彙力向上のため、オンライン学習課題を実施(主に第1・2学年)	・「ものづくり川柳」ほか、各種大会・コンテストへの積極的参加(全学年) ・文学的文章や詩歌での「ジグソー法」による授業の実践(主に第2・3学年)
地歴公民	・基礎・基本を重点に置き、複数の資料の読み取りなどを通じて、社会的事象に対して多面的・多角的な見方を育む	・社会的な見方・考え方の基礎・基本を身に付け、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。 ・複数データ資料の比較や読図を通じて、様々な視点から探求する活動を行う。 ・オンラインを活用して、分析したことを適切に表現できる課題を実施する。	・博物館や図書館の資料を比較活用したレポート活動 ・「江戸から東京へ」など、複数教科書を活用した多角的な探求活動
数学	・基礎・基本に重点を置き、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動に取り組む	・数学的な見方を・考え方を働かせ、問題を式、図、表などを用いて数学的に表現する力を育成する ・数式を適切に処理する基礎力育成の演習を実施する	・問題の考察に数学を活用しようとする態度を育成する授業を展開する ・専門科目と数学の関連を実感し、数学の有用性を実感できるような問題を取り扱う
理科	・科学的な思考力・表現力の育成を図る	中学校と高等学校との接続を考慮しながら、より基本的な内容で構成し、観察、実験、探究活動などを行い、基本的な概念や探究方法を学習する	学年や発達の段階、指導内容に応じて、例えば、観察・実験の結果を整理し考察する学習活動、科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動、探究的な学習活動を充実させる
保健体育	・安全面の充実を図る	整列・挨拶徹底、体操や補強運動を毎授業に取り入れ、メリハリのある授業を実施する。	毎授業後に「振り返りシート」を用い、振り返りを行うことで、思考力等の育成を図る。
英語	・「聞くこと」「話すこと」の指導の充実	・各学年におけるListening活動やSpeaking活動の目標やCriteriaについてJETやALTとともに協議し決定 ・各学年で各学期ごとにListening活動やSpeaking活動等を実施	・リスニング英検の積極的推進と実施 ・外部コンテストの積極的推進
家庭	実践的・体験的な学習を通して、主体的に家庭生活を創造する資質・能力を育成する。	実習を通して、衣食住に関する知識だけでなく実践的な技術を身につけさせる。	学期ごとに取り組める実習を用意し、実践を行う。
工業	・産業界で戦力となり得る、実力のあるスペシャリストを育成する	・従来の工業教育や資格取得指導に加え、実習授業のデジタル化を図り、先端技術を習得させる	・民間企業とも連携しながら、工業の教育内容に関するDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、Society5.0の時代にふさわしい工業教育の研究や実践を行う